

令和元年度 事業報告

平成31年4月1日～令和2年3月31日

一般財団法人 飛騨地域地場産業振興センター

昨年10月の消費税増税や米中貿易戦争の影響、更には新型コロナウイルスの感染拡大等により、日本経済は大きく停滞し先行きが見えない不安にかられています。

当センターは、飛騨地域の地場産業の発展と地域経済社会の活性化に貢献すべく、行政機関・地域業界との連携を密にし、またセンターの有する機能を効果的に活用しながら地場産品展示・普及事業、地域人材確保・養成事業、活性化対策事業、販路開拓事業等の諸事業を実施してきました。

以下、令和元年度に実施した諸事業についてご報告いたします。

I. 公益目的事業

1. 地場産品展示・普及事業

(1) 飛騨・暮らしの工芸品展示会事業

①実施目的

飛騨地域には、伝統的工芸品（飛騨春慶・一位一刀彫）の他にも、陶磁器・木工・紙製品・ガラス・布製品・染物・竹細工など数多くの優れた工芸品が作られおり、全国的な知名度・認知度を高めるため、積極的なPRが必要であることから、これら工芸品の良さを広くPRするための展示会を実施した。

前年まで横浜市で行っていた展示のみの開催から、神戸市に場所を変え、展示販売をすることで、より意欲的な成果につながった。

②実施期間

令和2年2月27日（木）～3月3日（火） 6日間

③実施場所

兵庫県神戸市中央区三宮1-10-1 さんちかホール（約250㎡）

④出展者数

6名（木工芸、陶芸、木工、木工家具）

⑤展示内容

ア. 工芸品展示コーナー

飛騨春慶、一位一刀彫、陶磁器（小糸焼・渋草焼）、布細工、染物、鉄工製品、桐細工、和紙、ガラス、竹細工、わら細工

イ. 観光・工芸品パンフレットコーナー

⑥来場者数 1,304人

(2) 飛驒の物産PR事業

①実施目的

歴史の中で培われた伝統・文化・豊かな自然などの観光資源をはじめ、各種物産を広く紹介することで、観光客の誘客、物産の販路開拓・需要拡大を図るために実施した。

②実施期間

令和元年11月9日(土)・10日(日) 9:00~16:00 2日間

③実施場所

山口県防府市八王子2-8-9

公益財団法人 山口・防府地域工芸地場産業振興センター
デザインプラザHOFU じばさんフェア'19

④出展内容

ア. 飛驒地域の物産紹介コーナー

漬物、味噌、駄菓子等

イ. 観光紹介コーナー

⑤来場者数 約20,000人

(3) 飛驒の伝統的工芸品展

①実施目的

飛驒地域の代表的工芸品である飛驒春慶、飛驒一位一刀彫及び陶磁器(小糸焼・渋草焼)を、観光客・市民に向け広く紹介することで、伝統的工芸品の魅力の再発見、販路拡大につなげることを目的に実施した。

②実施期間

令和元年11月1日(金)~7日(木) 9:00~19:00 7日間

(展示は、11月30日まで常設展示として継続)

③実施場所

展示: 飛驒高山まちの博物館 高山市上一之町75

実演・体験: 飛驒高山まちの体験交流館 高山市上一之町35-1

④展示内容

飛驒春慶、飛驒一位一刀彫、小糸焼、渋草焼芳国舎 121点

⑤来場者数 1,420人

(4) 飛驒の工芸品PR事業

①実施目的

飛驒地域で制作されている家具・クラフト・工芸品を、現代の暮らしの中に落とし込み、販路拡大を目的にライフスタイル展を実施した。

②実施期間

令和元年9月4日(水)~8日(日) 9:00~17:00 5日間

③実施場所

高山市千島町900-1

飛騨・世界生活文化センター コンベンションホール

飛騨の家具フェスティバルに小間出展

④展示内容

家具、木工、染色、ガラス、桐細工、金工、建具 16名 約350点

⑤入場者数 34,800人

(5) 飛騨の木工房販路開拓事業

①実施目的

小規模事業者や個人の工房で組織する飛騨の木工房の会では、個性的な手作り家具・木製品が作られており、積極的なPRが必要であることから、バイヤーが多数訪れる首都圏の大規模展示会に出展し、手作り家具・木製品の魅力を広くPRし、新たな販路開拓に結びついた。

②実施期間

令和元年11月20日(水)～22日(金) 3日間

9:00～18:00(最終日は17:00まで)

③実施場所

東京都江東区有明 東京ビッグサイト

IFFT/インテリア ライフスタイル リビングに小間出展

④出展者数 7名

⑤展示内容 木工家具、木工小物 33点

⑥来場者数 16,005人

2. 地域人材確保・養成事業

(1) 飛騨地域ものづくり技能向上研修

①実施目的

飛騨地域には、伝統工芸を始めとして、多くの優れた技や技術が蓄積されており、次の世代へ引き継がれることが重要である。家具や木工の若手を対象に第一線の職人から直接指導してもらうことで、技能の向上・ものづくり意識の啓発を目的に実施した。

②実施期間

令和元年7月29日(月)～令和2年2月2日(日)

③研修内容

ア. 木工ろくろ (7組(2人1組)が8回研修。延べ56回・112人)

ろくろ成形は、木工加工の基礎技術であることから刃物の扱い方・成形の基礎を習得した。

・課題 <皿> 刃物の扱い方・削り方の基本・刃物の作り方

・講師 木地師(木工ろくろ) 川上 憲一

・参加者 14名

イ. 曲げ物 (11人が2回研修。延べ2回・22人)

飛騨春慶の木地の一つである曲げ物の制作を通し、伝統工芸における木地加工の基礎を習得した。

- ・課題 <小判弁当／丸弁当> 木地加工・曲げ・かんば綴じ
- ・講師 木地師（曲げ物） 西田 恵一
- ・参加者 11名

ウ. 飛騨春慶塗 （9人が8回研修。延べ8回・72人）

当地の代表的工芸品である春慶塗における、漆の扱い方・漆の塗り方の基礎を習得した。

- ・課題 <曲げ物での制作品等>
目止め、下地塗り、飛騨春慶仕上塗り
- ・講師 塗師 鈴木 俊文
- ・参加者 9名

エ. 鍛冶 （4組（2人1組）が1回研修。延べ4回・8人）

焼き入れをはじめとした金属成形の基礎を習得した。

- ・課題 <金づち>
焼き入れ、鍛金、打ち抜き
- ・講師 新名鍛冶屋 新名 清雄
- ・参加者 8名

オ. 金継ぎ （7人が8回研修。延べ8回・56人）

日本の伝統的な器の修復技術である金継ぎの技法の基礎を習得した。

- ・課題 <器の修復>
墨つけ・きざみ加工・完成まで
- ・講師 尚可舎 久世 和政
- ・参加者 7名

※5種類の研修に参加した人数等

- ・実人数 49人
- ・延べ回数 78回
- ・延べ人数 270人

3. 地場産業活性化対策事業

(1) 飛騨の味まつり

①実施目的

飛騨地域で生産される食料品を広く紹介し、「飛騨の味」の需要促進と販路拡大を図ることを目的に、春と秋の2回（第64・65回）実施をした。

②<春>

ア. 実施期間 令和元年5月25日（土）・26日（日） 2日間

イ. 実施場所 本町1・2丁目商店街

ウ. 出店者数 46

（高山市32・飛騨市5・下呂市2・飛騨地域1（酒造組合）・その他6）

エ. 入場者数 46,000人

③<秋>

- ア. 実施期間 令和元年9月28日(土)・29日(日) 2日間
- イ. 実施場所 本町1・2丁目商店街
- ウ. 出店者数 47
(高山市33・飛騨市4・下呂市2・飛騨地域1(酒造組合)・その他7)
- エ. 入場者数 47, 200人

(2) 親子伝統的工芸品体験教室

①実施目的

飛騨地域の代表的な工芸品である一位一刀彫を実際に体験してもらい、一位一刀彫への理解を深め、ものづくりへの関心を高めてもらうため、夏休みを利用して親子による一位一刀彫の体験教室を実施した。

- ②実施日 令和元年7月27日(土)
- ③参加者 親子19組 38名
- ④実施場所 地場産センター 4F

(3) 地域活性化促進事業

下記の事業に負担金を支出し、支援を行った。
・飛騨高山観光客誘致推進事業

(4) 情報収集提供事業

新聞情報を中心に、情報収集・整理・提供を行った他、インターネットを通じ地場産製品の発信を行った。

4. 地場産業販路開拓事業

(1) 飛騨高山つくり手の会2019展示会の開催

①実施目的

当地には、地域の風土・伝統に根ざした制作活動を行っているクラフトマンが活躍しており、クラフト作品の発表の場を設けることで制作者の創作意欲の向上や、デザイン・技術の向上を図るため実施をした。

②実施期間

令和元年9月4日(水)～8日(日) 5日間

③実施場所

高山市千島町900-1
飛騨・世界生活文化センター コンベンションホール
飛騨の家具フェスティバルに小間出展

- ④出展者数 9名
- ⑤出展作品数 147点
- ⑥入場者数 34, 800人

Ⅱ. 収益事業の状況

1. 地場産会館運営事業

施設利用状況

令和元年度の諸施設の使用状況は、下表の通りです。

延べ利用回数 651回（前年比 131回減）

施設利用料収入 3,796,849円（前年比 274,891円減）

単位：円

	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
施設利用料	3,543,520	4,327,080	3,753,740	4,071,740	3,796,849
利用回数	694	758	762	782	651

2. 高山市営広小路駐車場管理事業

駐車場利用状況

令和元年度の駐車場の利用状況は、下表の通りです。

延べ利用台数 34,935台（前年比 364台減）

駐車料金収入 13,684,900円（前年比 144,410円減）

単位：円

	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
駐車場利用料	14,280,400	15,218,540	14,360,720	13,829,310	13,684,900
利用台数	36,554	37,496	35,651	35,299	34,935

Ⅲ. 管理事業の状況

1. 理事会・評議員会の開催

当センターの適正・円滑な運営を図るため、理事会・評議員会を開催した。

(1) 理事会

- ① 第1回理事会 令和元年5月29日(水)
・主な審議内容 平成30年度事業報告及び収支決算等

- ② 第2回理事会 令和2年2月27日(木)
・主な審議内容 ひだ地場産ビルの外壁安全対策緊急措置について

- ③ 第3回理事会 令和2年3月27日(金)
・主な審議内容 令和2年度事業計画及び収支予算等
指名競争入札者選定委員会の設置等

(2) 評議員会

- ① 第1回評議員会 平成31年4月1日(月)
・主な審議事項 役員を選任(みなし決議)

- ② 定時評議員会 令和元年6月18日(火)
・主な審議内容 平成30年度の決算書類の承認
理事及び監事の承認

2. 全国地場産業振興センター協議会への出席

各センターの事業運営について意見交換するとともに、現地視察を行った。

- ・総会 開催日 令和元年7月11日(木)
場 所 岩手県盛岡市 ホテル大観
主 催 (公財)盛岡地域地場産業振興センター

3. その他

①施設の修繕

- ・高圧受電設備改修工事
工事内容 動力変圧器の取替
工事日 令和元年6月15日
工事費 993,000円